



ほっとニュース 27



上山高原エコミュージアムの“ほっと”なニュースをお届けします。

迫力満点！ チェンソーアート

10月4日、新しいプログラムとして、チェンソーアート研究会が行われました。岡山県の彫刻家、西田和宏氏を講師としてお招きし、フクロウづくりに挑みました。材料は直径50cmほどもあるスギ丸太。もちろん上山高原の自然復元作業で切り出されてきたものです。普段は伐採で使われているチェンソーですが、集まって来た参加者は、ほとんどが初心者。まずは機械の扱いから教えていただきました。機械の操作がわかったところで、いよいよ削りです。先生の指導のもと、大胆に荒削りを行っていきます。轟音を響かせ、木くずを飛び散らせ、思い思いに彫り込みます。無我夢中で丸太と格闘。これぞ男のアートだぜ！！



大まかな形ができたなら、目玉、羽、つめなど、細かい細工の方法も習い、だんだんフクロウらしくなってきました。少々いびつでもそれが個性、いい味出てます！の世界です。苦勞して作り上げた作品は、なんともかわいく、かっこいいものでした。それぞれが意気揚々と自宅へ持ち帰りました。



上山エコ リポート&リポート

秋のエコフェスタ開催

上山高原のススキが銀色に色づき、ナナカマドの実が真っ赤に染まり、草原は秋真っ盛りです。10月17、18日2日間、秋のエコフェスタが開催されました。初日は、今年整備された西が丸の散策コースで、樹齢200年のブナ林を恐る恐る歩きました。とても荘厳で威圧感さえ感じました。2日目は働き（植樹） 食べ（餅つき、バイキング） トレッキング（上山のススキ草原） と充実の1日でした。



他のイベントと重なり参加者が昨年より少なかったのが残念でしたが、2日間満足していただいたと思います。

放置竹林の管理や活用に向けて



今年から竹林を対象とした自然再生の取組を始めています。手入れされない竹林は拡大を続け、枯れると災害の危険もあることから、全国的に対策が課題となっています。事業は「但馬ふるさとづくり協会」の助成金を受け、宮脇地区の竹林を対象にスタートしました。放置竹林の実現可能な管理手法の検討や、竹の活用策について研究します。夏に行ったキャンドルライトもその一環で、現在は、竹炭を制作中です。炭焼きリーダーの安田さん兄弟を中心に10月18日に初の窯出しを行いました。また、11月20日(金)夜には、大阪から講師を招き、研修会を開催します。ぜひご参加ください。(畑中)



11月～12月のプログラムのご案内

カズラ編み籠作り

日時 11月22日(日) 10:00～
 場所 ふるさと館
 内容 世界に一つのオリジナル作品を作ろう
 参加料 大人1,000円 小中学生 800円
 弁当持参下さい



しいたけ植菌体験

日時 11月29日(日)
 集合 ふるさと館
 参加料 大人1500円
 内容 ホダ木に椎茸菌を植え付けます。食事付。



オリジナルリース作り

日時 12月20日(日)
 集合 ふるさと館 10:10
 参加料 大人1,000円
 子供 800円
 内容 カズラに松ぼっくりなどの木の实をつけて、リースを作ろう。



エコミュージアム リレー報告 その20

理事 森田 忠浩



私は、この春の総会で、PR 部会より理事に選任されました。微力ではありますが、任期の2年間がんばりたいと思います。

現在、上山エコには100名を超える会員がいて、その約8割は地元の方で構成されています。私も、仕事の関係がきっかけで、3年前から入会し、改めて奥八田地域の自然のすばらしさ・魅力というものを再認識させられたような気がします。

上山エコでは、年間30近い主催プログラム(イベント)を、上山高原やふるさと館を中心に開催しており、さまざまな地域からの参加者がここ奥八田を訪れています。しかし、地元の参加者が非常に少ないのが残念です。皆さん、最近、上山高原に上がったことがありますか？ 秋のスキ草原で銀穂が風に揺れる様子は正に絶景で、一見の価値があります。皆さんは、扇ノ山へ登ったことがありますか？ 最近話題の「猿壺(さるぼ)の滝」や「シワガラ」を見たことがありますか？ 扇ノ山登山や滝めぐりは特に人気です。

また、上山エコでは、地元特産品の開発・販売も行っており、今年度は120万円の売り上げを予定しています。現在の主力商品は、乾シイタケや野草茶です。今後は、さらにコスト削減や効率化を図り、ちょっとしたビジネスとして成り立つよう検討を重ねているところです。

県や町も財政面でもこの取組みに支援してくれています。地元でも自分達のためと思い、もっと盛上げてみてはどうでしょう。まずは、ふるさと館へ足を運んでみてください。



事務局だより

～干しいも作り始動～

今年も干しいも作りが始まりました。今年は各集落で分担して作り、昨年の倍は作れると思います。

最初に作った130袋はすぐに売り切れしました。第2回、第3回と予定しています。売れ行き好調のため、サツマイモがある限り12月まで生産・出荷する予定です。

売り先は新温泉町の各イベントと但馬の道の駅などです。

ふるさと館でも販売していますのでご来館の上、お買い上げ下さい。



エコミュージアムのたからもの

11 トチの実

トチノキは日本の山中では非常にポピュラーな木で、上山高原でもたくさん見られます。樹高は20m以上になり、5月頃白い花を咲かせます。秋には、大きな葉の陰にたくさんの実がぶら下がります。実は栗よりひと回り大きく、直径は4～5cmほどで少しごつごつしています。日本でも外国でも古くから食用にされ、飢饉の折の大切な食料だったとも。食べ方は今ではとち餅が一般的ですね。あくが強いので下準備に少々時間がかかりますが、独特の風味がとても懐かしい感じがします。



芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋。冬の足音がそこまで来ていますが、自然の恵みに感謝し秋を目一杯満喫しましょう。たからものコーナーでトチの実を取り上げましたが、ほかにも、クリ、クルミ、山ブドウ、ズバタケ・・・上げたらきりがありません。山の生き物たちも冬の準備にきっと大忙しのことでしょう。

特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム

事務局 上山高原ふるさと館内

〒669 6953 兵庫県美方郡新温泉町石橋757-1

TEL(0796)99 4600 FAX(0796)99-4601

E-mail:ueyama-eco@yumenet.tv

http://www.ueyamakogen-eco.net.